

ワークショップの進め方

<グループ・ディスカッションテーマの設定>

※◎の方が進行役、発表者についてはグループで最初に決定する。

※各グループに事務局が1人ずつ入り、書記、進行役のフォロー等を務める。

【共通テーマ】市民公益活動の推進にあたって何が必要か？

※行政との関わり方といった視点で以下の2テーマを設定する。

【テーマ1】行政とパートナーとして組む

◎奥村会長、西委員、岡本委員、石田委員、伊東委員、小林委員、馬場委員

【テーマ2】行政がプラットフォームを整備する

◎関谷副会長、深谷委員、麻宮委員、伊藤委員、大門委員、箕輪委員、若山委員

※テーマ2グループはオンラインを使用するため、オンライン参加の方はチャットでコメントをいただいたものを事務局で付箋に書いて張り出します。

<ワークショップの流れ>

1) ワークショップの進め方と内容の共有【15分】 事務局より説明

- ①ワークショップの目的とテーマ
- ②情報の共有（現状・課題等）
- ③グループディスカッションにあたってのポイント等
- ④スケジュール

（50分議論、5分×2グループで発表、最後5分程度で会長よりまとめ）

2) ワークショップ【65分】

◎最後の発表者を決める。

(①課題)

・付箋にテーマに関する課題を各自記入・記入した人からボードに張り出す。（※似た考えは随時まとめる。）【5分】

※課題等の抽出にあたり、「A.目指したい・望ましい姿のイメージ」を最初に共有していただいても構いません。

・各自の考えを発表【7分】

・進行役に従い「B.問題認識」について議論・整理【13分】

(②解決策)

・付箋に、「B.問題認識」を踏まえた解決策を各自記入・記入した人からボードに張り出す。（似た考えは随時まとめる。）【5分】

・各自の考えを発表【7分】

・進行役に従い「C.解決策等」について議論・整理【13分】

3) 発表【10分：5分×2グループ】

・B.問題認識、C.解決策等の順に発表者が報告する。

4) 会長よりまとめ

<グループディスカッションにあたっての主なポイント>

- ・他人の発言は否定しない。
- ・メンバー全員が発言できるようにする。※一人の発言に集中しないようにする。
- ・奇抜な考え方・ユニークなアイデアは歓迎